

2009年度大学院修士論文（研究調査）の中間発表会が行われる

2009年11月20日に、本年度の修士論文（研究調査）の中間報告会が実施されました。参加した教員、院生から活発な質問、コメントがなされ、報告者との充実した討論がおこなわれました。報告者は、ここで得たコメントも参考にして、2010年1月の提出まで論文の改善に努めています。

今年度の報告者は5名で、それぞれ以下のテーマ（仮）でした。

研究テーマ

「ポーター仮説の実証研究 - 自動車産業における環境規制と生産性 - 」

「労働者に対する使用者の安全配慮義務の諸相」

「わが国におけるキャッシュ・フロー会計の生成と展開」

「わが国における農業簿記の生成と展開」

「雇用形態の違いにおける組織文化の内部化度の差の研究 - アパレル企業の販売員における実証研究 - 」

